

畜水産食品中の合成抗菌剤の検査結果 (1999年度)

山口 康・熊野 眞佐代・川口 治彦

Analysis of Synthetic Antibacterials in Livestock and Marine Products (1999)

Yasushi YAMAGUCHI, Masayo KUMANO and Haruhiko KAWAGUCHI

Key words :synthetic antibacterials,antibiotics,endoparasite medicine,fish,egg,milk

キーワード :合成抗菌剤、抗生物質、内部寄生虫剤、養殖魚介類、鶏卵、乳

はじめに

平成11年度、厚生省畜水産食品の残留有害物質モニタリングの一環として、県内産の畜水産食品中の合成抗菌剤の残留調査を実施したので、その結果について報告する。

調査方法

1 検体 表1に示す。

表1 検体

保健所名	養殖魚介類			鶏卵	乳
	ぶり	まだい	ひらめ		
西彼	3	2			
県央				7	6
県南	2	1		3	4
県北	1	3	1		4
五島	1	2			3
上五島	2	1	1		
壱岐					3
対馬	1	1			1
計	10	10	2	10	21

各保健所から平成11年12月～平成12年1月に搬入された。

2 検査項目と定量下限値

表2に示す。

3 検査方法

平成11年3月31日付け衛乳第68号、厚生省生活衛生局乳肉衛生課長通知による。

表2 検査対象食品及び検査項目・定量下限値

検査項目	養殖魚介類			鶏卵	乳
	ぶり	まだい	ひらめ		
(1)抗生物質					
キリトサイクリン	0.10	0.10	0.10	0.20	0.1
(2)合成抗菌剤					
サルファ剤					
スルファミラジン	0.01	0.01		0.01	
スルファンジジン	0.05	0.05		0.05	
スルファモノトキシン	0.01	0.01		0.01	
スルファンメトキシン	0.04	0.04		0.04	
スルファキノキサリン	0.05	0.05		0.05	
ネリリン酸	0.05	0.05	0.05	0.05	
ファンフェニコル	0.5	0.5	0.5	0.5	
ホルメプリーム					0.05
トリメプリーム					0.05
ピリメタミン					0.05
(3)内部寄生虫剤					
フルベングザール				0.04	
チアベングザール					0.005
5-ヒドロキシチアベングザール					0.01

(定量下限値 単位: $\mu\text{g}/\text{g}$)

まとめ

養殖魚介類22検体、鶏卵10検体および乳21検体のいずれからも抗生物質、合成抗菌剤、内部寄生虫剤は検出されなかった。